

キャリア教育（進路）便り

現在、3学期制をとっている中学校の9年生（3年生）は、実力テスト・中間テスト・学力診断テスト・期末テスト等、短期間で4つの試験を行います。どの試験も、公立及び私立高等学校の受験校を決定する上で重要な判断資料となります。本校は、2学期制ですが、同じように単元末テスト（校内）、実力テスト、学力診断テスト等を実施し、受験校決定の判断材料としていきます。

9年生にとっては、生活面や学習面で、今何ができていて、何が課題であるかを考え、今やるべきことに真剣に向き合い、自分の進路決定のために、全力を尽くし「受験の壁」を乗り越えることが大切です。

本校初の卒業生であり、受験生でもある9年生にとって、幸せに満ちた春を迎えて欲しいと思います。

9年生、「全力でぶつかっていこう」先生方も、全力で支援していきます。

さて、今回も、公立及び私立高等学校に関する情報をお知らせします。

【 県立高校受験関係 】

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 1 共通選抜 | 当日の試験結果・調査書によって合否判定 |
| 2 特色選抜 | 当日の試験結果・調査書 + 選抜資料「面接・作文・実技」等 |
| (1) 出願要件 | 文化・芸術・部活動・生徒会・ボランティア活動等の実績と入学後の継続活動 |
| (2) 募集人員 | 募集人員は、各学科の50%が上限です。※実施校のHP参照 |
| 3 二次募集 | 合格者が募集定員に満たない学科（コースを含みます）の高校で募集します。 |

注 11/3付読売新聞では、全国の公立高等学校の4割が定員割れであるとの報道がされていました。最大の理由は、「少子化問題」です。そこで、学校の統廃合、学科新設等を行い、乗り越えていく努力をしています。茨城県でも、総合高等学校や総合学科、医学コース、単位制等を導入している学校もあります。少子化により、今後、公立・私立とも受験生の確保、生徒の確保のために、より一層の競争が激化することが考えられますが、常に、確かな情報を得ることが受験生にとって重要です。

【 私立高校受験関係 】

- 試験科目 3教科受験が多い。「国語・数学・英語」 マークシート方式が多い。
 - 英語検定取得者に有利になる学校もあります。 注：大学入試は実施中
「英語検定・漢字検定・数学検定」取得者にとり、試験内容が有利な高校も出てくるかも知れません。
- 各高等学校とも、(生徒確保のため) 特色ある教育活動を展開しています。各校のホームページでご確認ください。例「〇〇コース」等
- 英検褒賞金制度を実施している高等学校もあります。
 - 中学校卒業までに、所有する英語検定の級数に褒賞金を与え、入学後も更に学習に励むようサポートすることが目的だそうです。

〈実用英語技能検定褒賞金制度〉 ※褒賞金 = ごほうび

英検2級以上の取得者 5万円の褒賞金

英検準2級取得者 3万円の褒賞金 英検3級取得者 1万円の褒賞金

【 青葉台としての推薦基準 】推薦⇔本校職員による進路対策委員会で審議

- 当該高校を第1志望とする。(推薦は、一人1回) 注：合格 = 必ず当該受験高校に入学する。
- 当該私立高等学校で求めている推薦基準をクリアしていること。 注：各校のホームページ参照
- 中学校3年間で、
 - ①学習や生活面で、真面目に一生懸命に取り組んでいる生徒
 - ②欠席・遅刻・早退が少ない生徒（特別な事情を除きます）
 - ③前向きに考え行動できる生徒（合否結果に関わらず）